



つ社協だより

平成18年10月16日

秋号

NO.3

三重県共同募金会津市共同募金委員会からのお知らせ

この羽根が、あなたの気持ちを届けます。



赤い羽根共同募金運動は、「地域福祉の推進」をめざして
10月1日から12月31日まで実施しています。



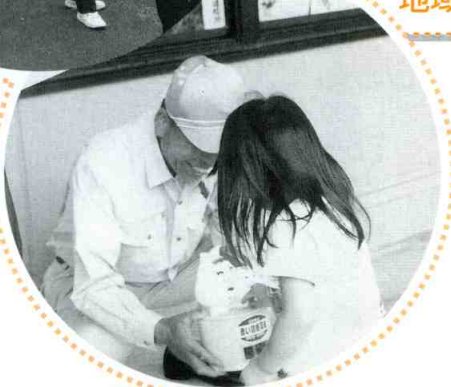
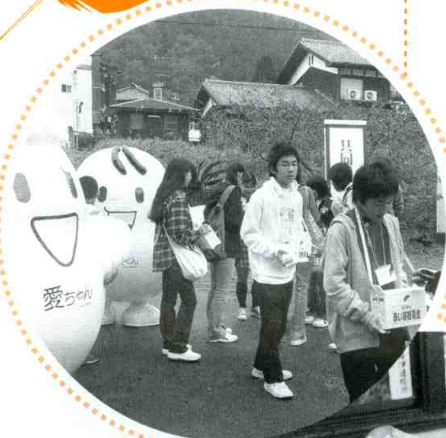
赤い羽根共同募金に、ご協力お願いいたします。

共同募金は、地域をつくる市民を応援していきます。

例えば……

- 地域で、子育てのお手伝いをしたり、悩んでいるお母さん、お父さんの相談にのる活動
- 障がいのある人が、まちで幸せに暮らせるお手伝いをする活動
- 地域で一人暮らしや寝たきりのお年寄りに、栄養の整った食事を届ける活動
- 地域に住むみんなが「安心・安全」に暮らすための活動 など

地域のいろんな活動のために役立てられます。



募金の使いみちはすべて、ホームページに掲載されています。

あかいはね

www.akaihane.or.jp

愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

ち く し ゃ か い ふ く し き ょ う ぎ か い

地区社会福祉協議会(地区社協)の紹介



地区社会福祉協議会とは、より身近な地域の福祉を推進するために活動する住民組織です。私たちの生活上のいろいろな福祉問題や課題について話し合い、問題解決のための活動や地域づくりをすすめる活動をしています。

現在、津市内には41の地区社協が設置され、それぞれの地域に根ざした活動が展開されています。



地域福祉推進プロジェクト!

考えよう! 地域のこと

地域福祉推進プロジェクトとは…

地域には歴史、生活習慣、地理的特性などの相違があり、それぞれの地域住民の要望に応じた活動が多種多様に行われています。

しかし時代の流れとともにその要望が変化したり、要望に応える体制づくりができていかなかったりしていることも事実です。

このため津市社会福祉協議会では「地域福祉推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、それぞれの地域に担当職員を配置しました。担当職員を中心に地域の声に耳を傾け、さまざまな角度から検討し、だれもが住み慣れた地域で自分らしく、安全に安心して暮らしていけるよう活動しております。

活動内容

- ①地区社協、民生委員児童委員協議会などとの連絡調整
- ②各種団体などへの情報の提供と収集
- ③行政や各種公的機関などとの調整
- ④各地域の活動内容と実態の把握
- ⑤定期的に担当者会議を開催し情報を共有する
- ⑥地域で起こる課題点を協議し具体的支援、協力内容を検討し実施する

敬老会が開催されました

9月第3月曜日の敬老の日を中心に、各地区の地区社協や自治会、実行委員会により、地域単位でさまざまな敬老事業が開催されました。

本会では地域福祉推進プロジェクトチームを中心に、地域の実情に合わせて敬老事業の主催団体へ支援、協力を行いました。

今後につきましても、地域で福祉活動を進めていただく事業については、協議の上、地域の実情に合わせて支援、協力を行う予定です。



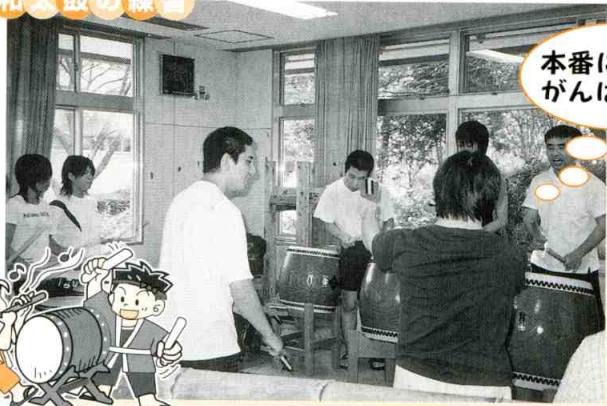
美杉地区(八知)敬老会の様子

福祉ワークキャンプ2006を開催しました

“福祉ワークキャンプ2006”を津市社会福祉協議会及び三重県厚生事業団三重県いなば園主催のもと、7月28日（金）から29日（土）の一泊二日で、三重県いなば園(知的障害児者総合福祉施設)にて開催しました。

市内在住・在学の中学生、高校生15名が参加し、施設利用者のみなさんと園内の納涼大会をつくりあげ、交流を深めることで、社会を見つめる目・福祉の心を培い、共に生きることの素晴らしさを学びました。

和太鼓の練習



参加者の感想より

- ★納涼大会・ふれあい活動・キャンプファイヤー（ワーク活動）利用者の方と一緒に取り組むことができ良かった。納涼大会の時、利用者の方々の親御さん達が来ていて、利用者さん達がすごく嬉しそうにして笑ったりしてたのを見て自分も嬉しかったです。（高3女子）
- ★やっぱり最初は、障がい者に対するの偏見や、コミュニケーションするのは難しいという固定されたイメージがぬぐいされなくて、なかなかうまくいきませんでした。でも、話をするようになって感情表現が素直で、泣いたり叫んだりするのは理由があると分かって偏見がなくなりました。（高1女子）
- ★初めは何を伝えたいのか全くわかりませんでした。でもわかって！わかって！という思いがあれば、理解し合えると利用者さんと接してきて感じました。今後、少しでもいいから理解したいという気持ちを大切に「人」と接していきたいと思います。（高1女子）

納涼大会の準備



津市総合防災訓練に参加しました

平成18年9月2日（土）津市敬和小学校にて、市の主催で津市総合防災訓練が行われました。地元住民や消防団、敬和地区自主防災会、津地区ボランティア連絡会など23団体、約800人が参加されました。津市社会福祉協議会も訓練に参加し、避難所（体育館）までの車イスの誘導、車イスの操作説明及び車イスの体験を担当しました。あらためて防災に対する備えや地域でのつながりの大切さを感じるものでした。この訓練の経験を活かし、これからも地域のみなさんと日頃から助けあえる関係づくりをすすめていきたいと思ひます。



